

[解 説]

大判カラープリンタの利用方法

共同研究支援係

1. はじめに

本センターでは、大判カラープリンタ（ヒューレットパッカード社、DesignJetT1200ps）を設置しており、A0サイズまでのポスターなどを2400×1200dpiの高品質で出力することができます。この大判カラープリンタは、プリントサーバに接続されており、プリントサーバに印刷ファイルを転送することで、お手持ちのPowerPointスライドなどの文書や図表をA0サイズまで拡大して出力することが可能になります。

この大判カラープリンタは、サイバーサイエンスセンター本館1階の利用相談室にあります。ご利用には、プリントサーバにログインするための利用者番号と、印刷ファイルを転送するためのUSBメモリをご準備ください。利用時間は平日9時～21時です。

本稿では、作成した文章や図表を大判カラープリンタに出力するための「印刷ファイルの作成方法」と、「大判カラープリンタに印刷する方法」についてWindows7での使用を例にご紹介します。

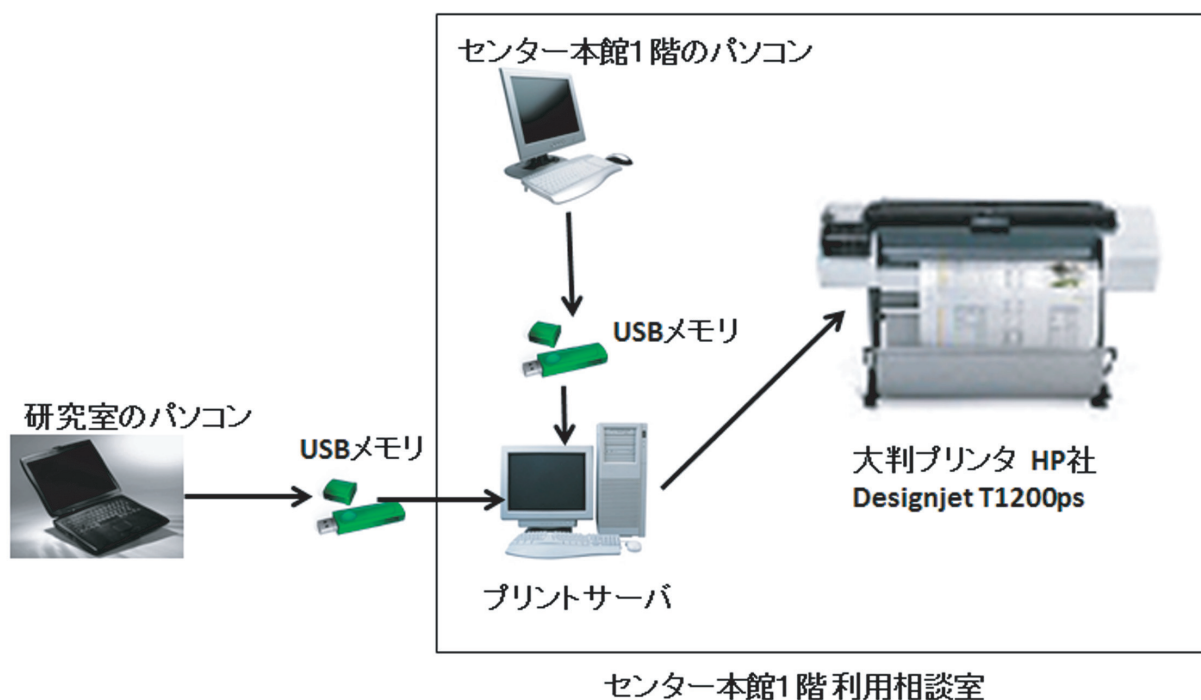


図 1 大判カラープリンタシステムの構成

2. 印刷ファイルを作成する方法

(1) 本センターの利用相談室のパソコンで作成する場合

本センターのパソコンでは、Microsoft Office や Adobe Reader を利用することができます。パソコンには、大判カラープリンタ用の印刷ドライバが導入済みですので、ドライバを利用者が準備しなくても、(3)の説明に従って印刷ファイルを作成できます。

(2) 研究室のパソコンで印刷ファイルを作成する場合

研究室のパソコンで印刷ファイルを作成するには、下記のようにしてプリンタドライバを導入します。

- ① 次の URL
<http://h20566.www2.hp.com/portal/site/hpsc/public/psi/swdHome/?sp4ts.oid=3942001>
に接続します。
- ② 「オペレーティングシステム」から「Microsoft windows 7(32bit)」を選択し、「ダウンロード」の中の「ドライバー」から「HP Designjet T1200ps/T770(PostScript アップグレード)シリーズ PostScript ドライバー (32bit)」の項目のダウンロードボタンをクリックしファイルをダウンロードします
- ③ ダウンロードしたファイルを適当なディレクトリで実行します。
(自動的に解凍されてファイルが出来ます。)
- ④ Windows のスタート→コントロールパネル→ハードウェアとサウンドから「プリンタの追加」を選びます。
- ⑤ プリンタの追加ウィザード(図 2)が表示されます。「ローカルプリンタを追加します」の項目をクリックします。

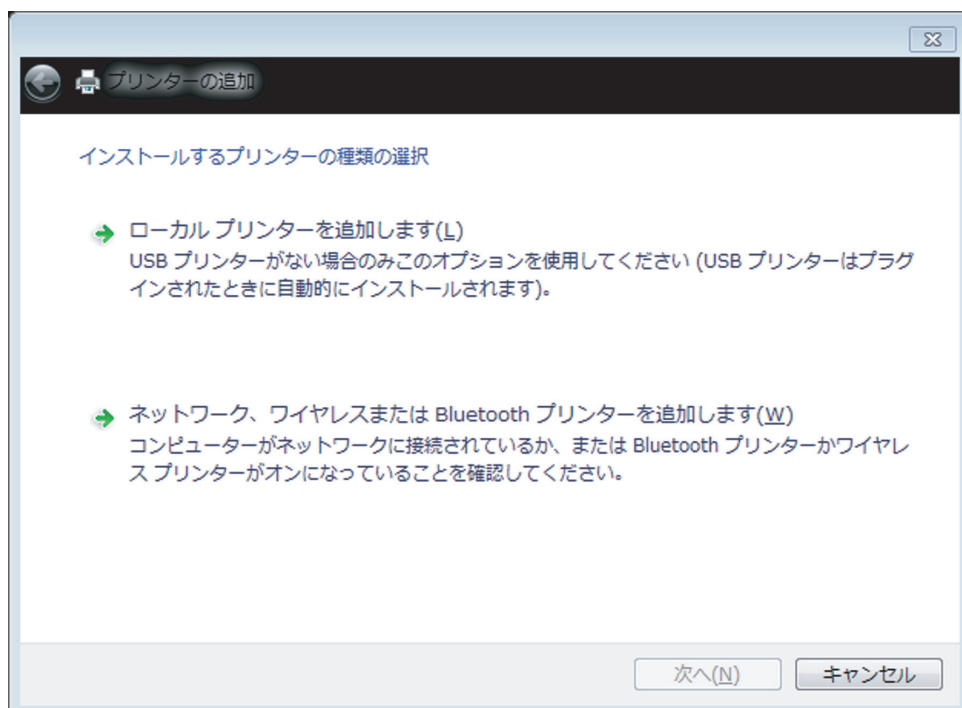


図 2 プリンタの追加ウィザード画面

「プリンターポートの選択」で、「既存のポートを使用」を「FILE:ファイルへ出力」を選択し、「次へ」をクリックします（図 3）。

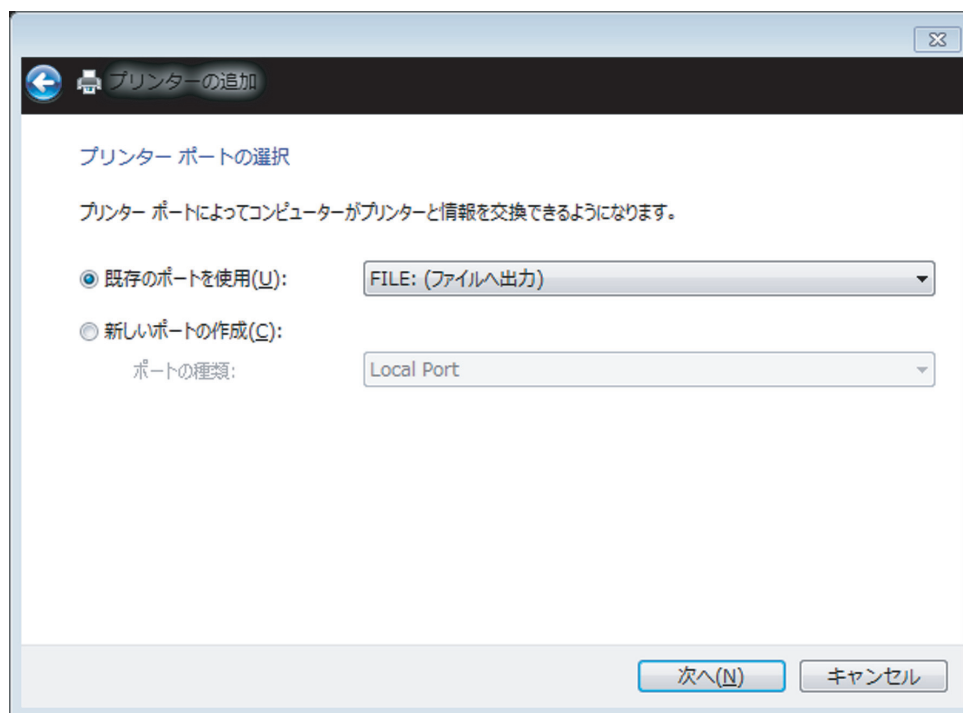


図 3 プリンターポートの選択画面

「プリンタードライバのインストール」で「ディスク使用」をクリックします（図 4）。

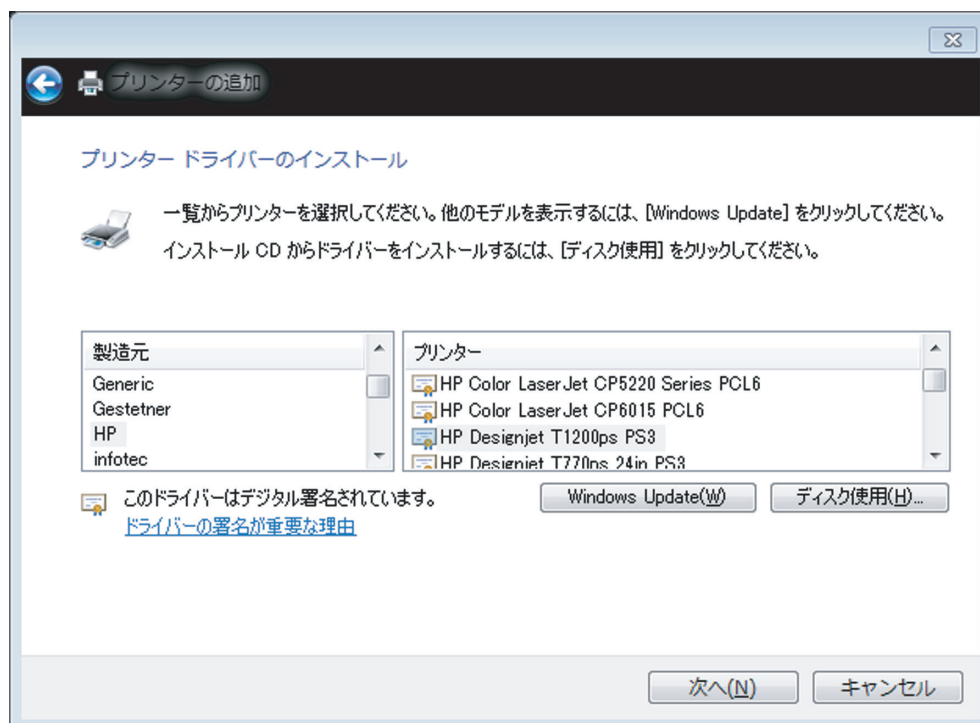


図 4 プリンタードライバのインストール画面

「フロッピーディスクからインストール」から「参照」をクリックします（図 5）。



図 5 フロッピーディスクからインストール画面

「ファイルの場所」が表示されますので、先程解凍したファイルがあるディレクトリを選び、表示されたファイルを選んで、「開く」をクリックします（図 6）。

「フロッピーディスクからインストール」画面に戻るので、「OK」をクリックします。



図 6 ダウンロードしたファイルの選択画面

プリンタの一覧が表示されますので、「HP Designjet T1200ps PS3」を選び、「次へ」をクリックします（図 7）。

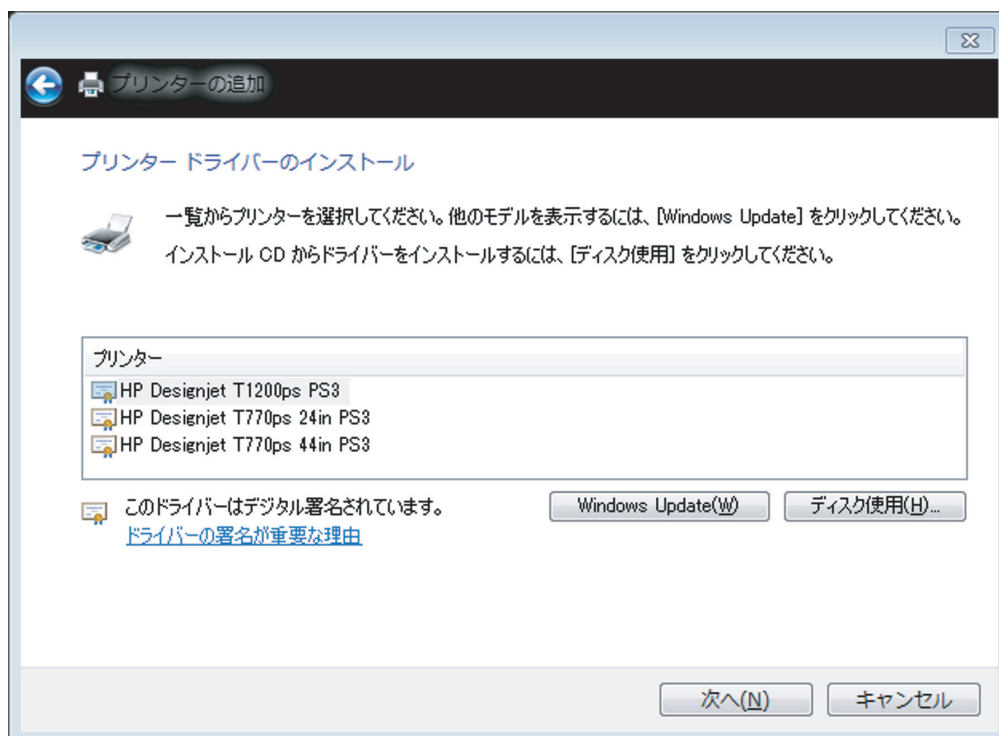


図 7 インストールするプリンタの選択画面

登録する「プリンター名」の指定は、表示されている名前を変更したいときは指定したい「プリンター名」を入力してください。「次へ」をクリックするとインストールが開始します（図 8）。

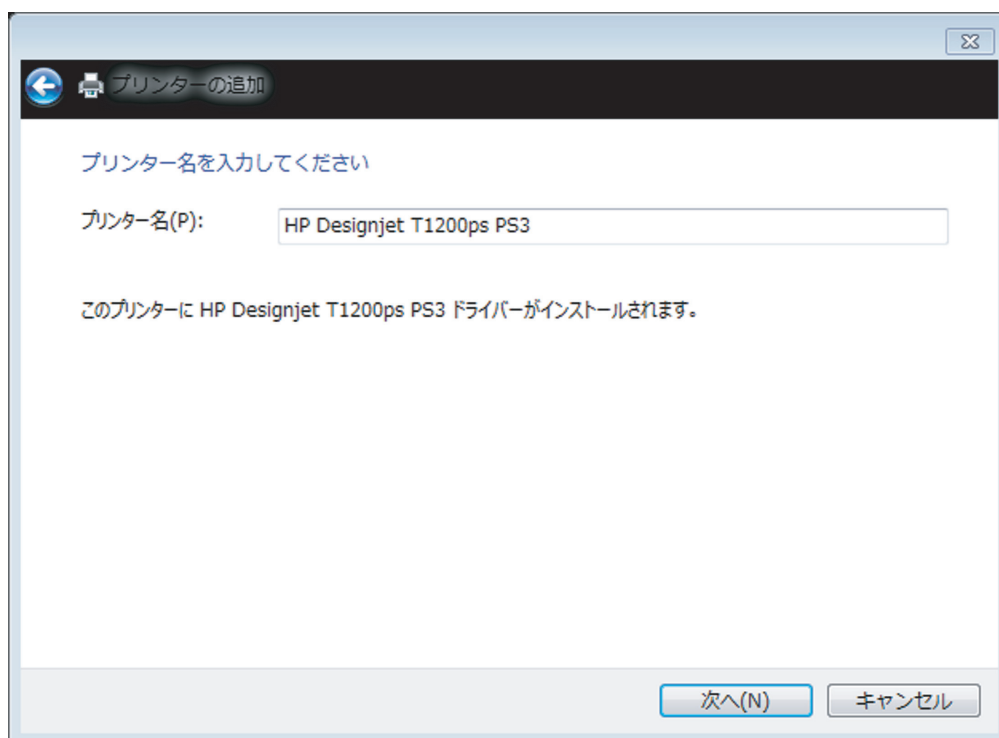


図 8 プリンター名入力画面

「通常使うプリンターに設定する」のチェックがされていないことを確認し、「完了」をクリックします（図 9）。

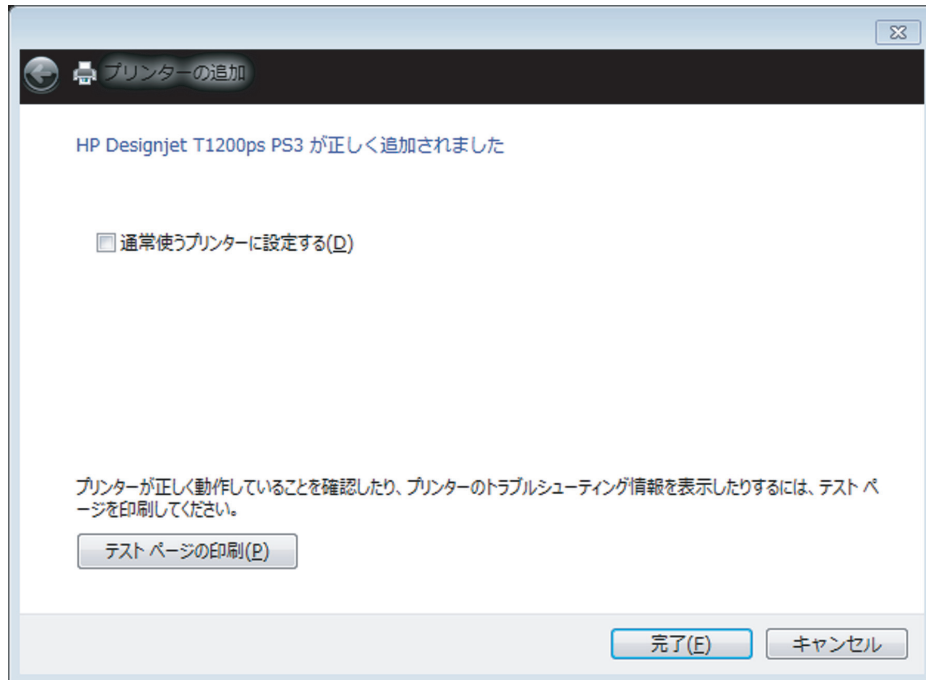


図 9 インストール終了後の画面

以上で設定は終了です。「デバイスとプリンター」ウィンドウにアイコンが追加されていれば、インストールの完了です。正しく追加されていれば解凍したファイルを削除しても構いません（図 10）。



図 10 プリンタが追加されていることの確認画面

(3) 印刷ファイルを作成する

Microsoft Word や Microsoft PowerPoint などの原稿を開き、上部のメニューバーの「ファイル」から「印刷」を選びます。

印刷ウィンドウにある「プリンターの選択」の中から、「HP Designjet T1200ps PS3」を選択します。設定確認のため、あるいは、印刷する大きさを変更するために「詳細設定」をクリックします（図 11）。

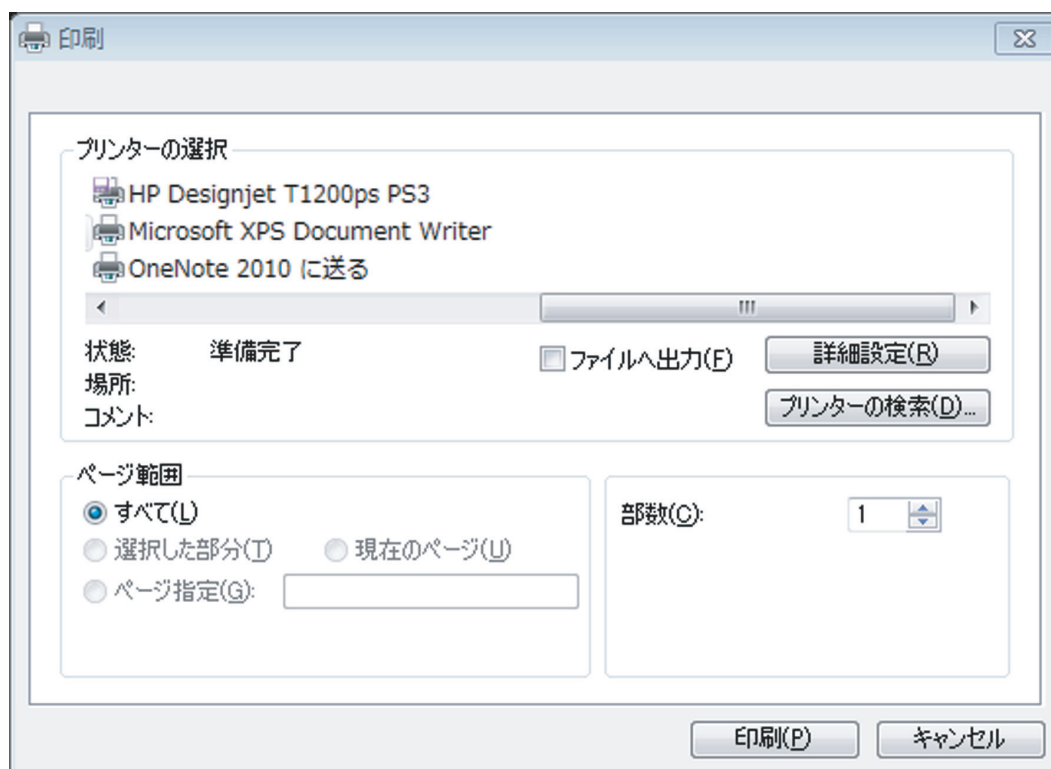


図 11 プリンター選択画面

「用紙/品質」の「文章サイズ」ではアプリケーションで作成した原稿サイズを選択します（図12）。

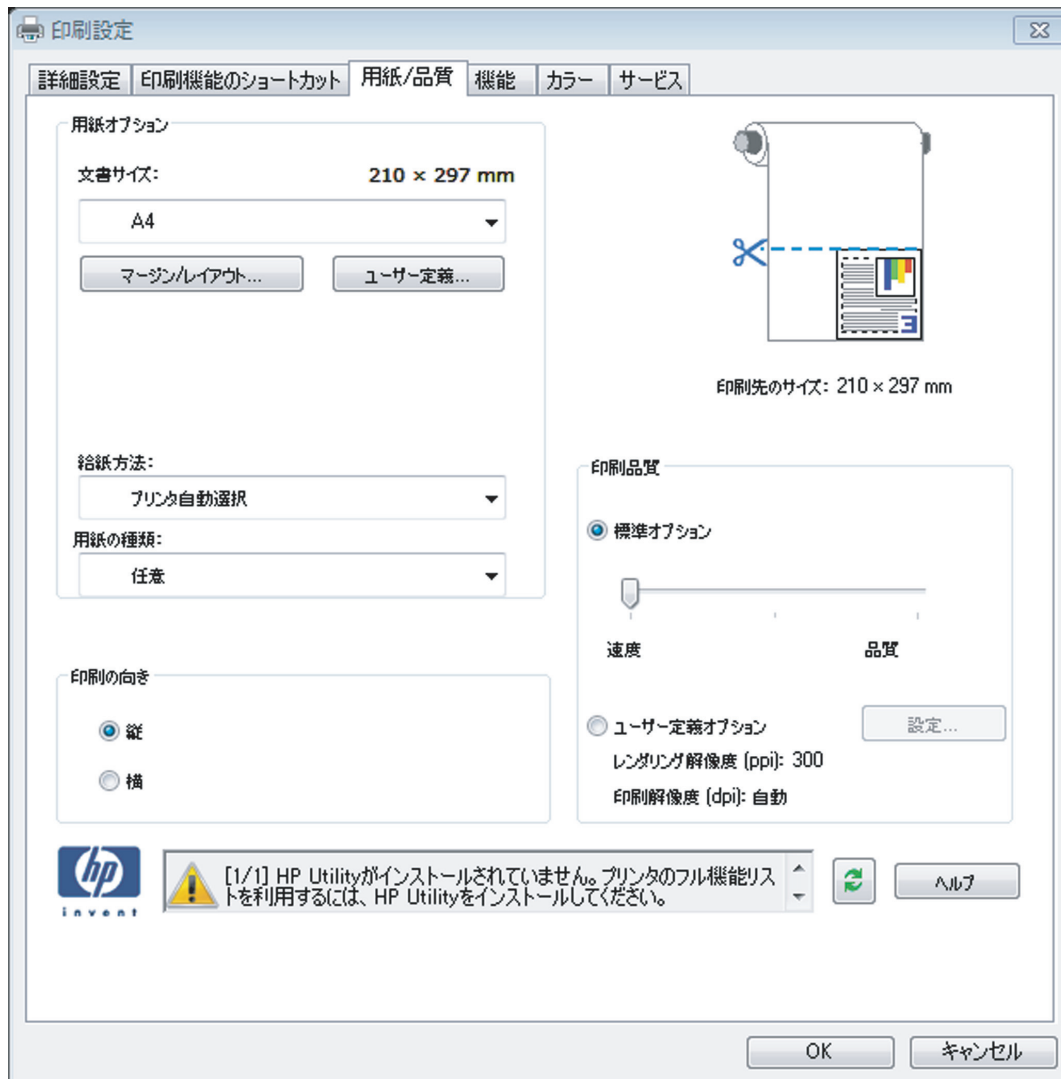


図 12 原稿サイズ設定画面

原稿のサイズと印刷する用紙サイズが違う場合は、「機能」ウィンドウの「サイズ変更オプション」の「文章を印刷する用紙」に、出力したいサイズを選択します。右側の図の「印刷先のサイズ」が指定したサイズになります。最大 A0 サイズまで指定が可能です（図 13）。

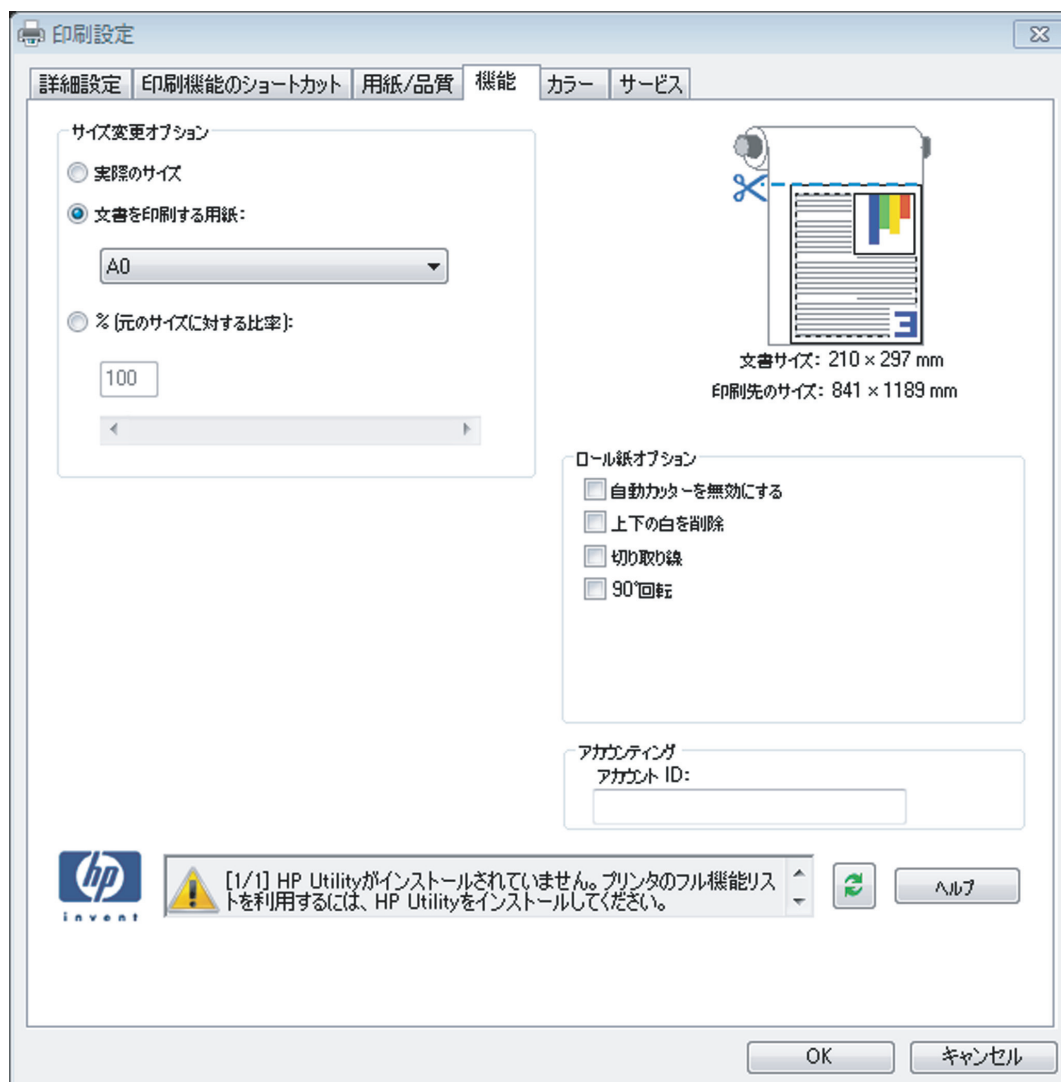


図 13 印刷サイズの変更画面

すべての設定が終わったら「OK」をクリックします。印刷ウィンドウ（図 11）に戻るので、「印刷」をクリックします。

「ファイルへ出力」ウィンドウが表示されますので、USB メモリを選択しファイル名を入力して、「OK」をクリックすると印刷ファイルが作成されます。

3. 印刷ファイルの大判カラープリンタでの印刷方法

印刷ファイルの印刷は、利用相談室にあるプリントサーバで行います。

印刷方法

プリントサーバに利用者番号とパスワードを入力し、プリントサーバにログインします。プリントサーバ本体の前面にあるカバーの中にある USB ポートに、USB メモリを入れます。デスクトップ上に USB メモリのアイコンが表示されたことを確認します (図 14)。

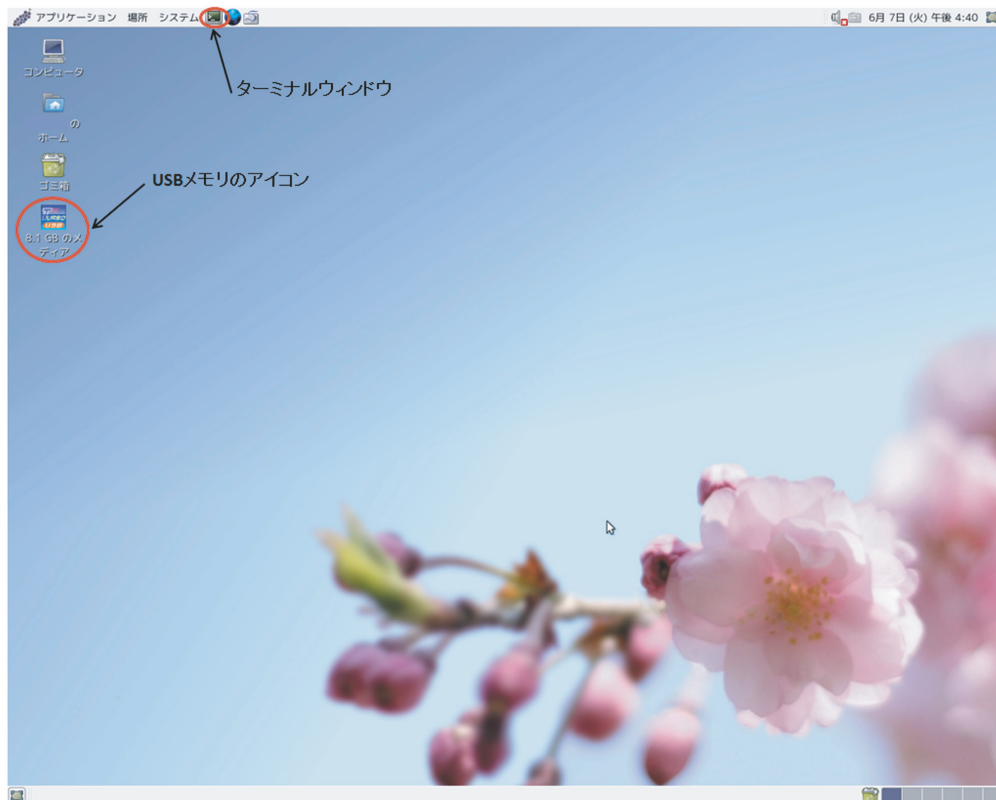


図 14 プリントサーバのデスクトップ

画面上部にあるターミナルウィンドウ (画面マーク) をクリックして開き、ターミナルウィンドウから印刷コマンドを入力します。コマンドの形式は

`lpr` 印刷ファイル名

です。「lpr」と「印刷ファイル名」の間には半角スペースが入ります。

はじめに、「lpr」までを入力します。

次にデスクトップの USB メモリのアイコンをクリックして USB メモリウィンドウを開き、印刷ファイルを USB メモリウィンドウから、コマンドを入力したターミナルウィンドウにドラッグすると、「lpr」の後にファイル名が入力されます（図 15）。入力した内容を確認し、キーボードの **Enter** を押すと印刷が始まります。

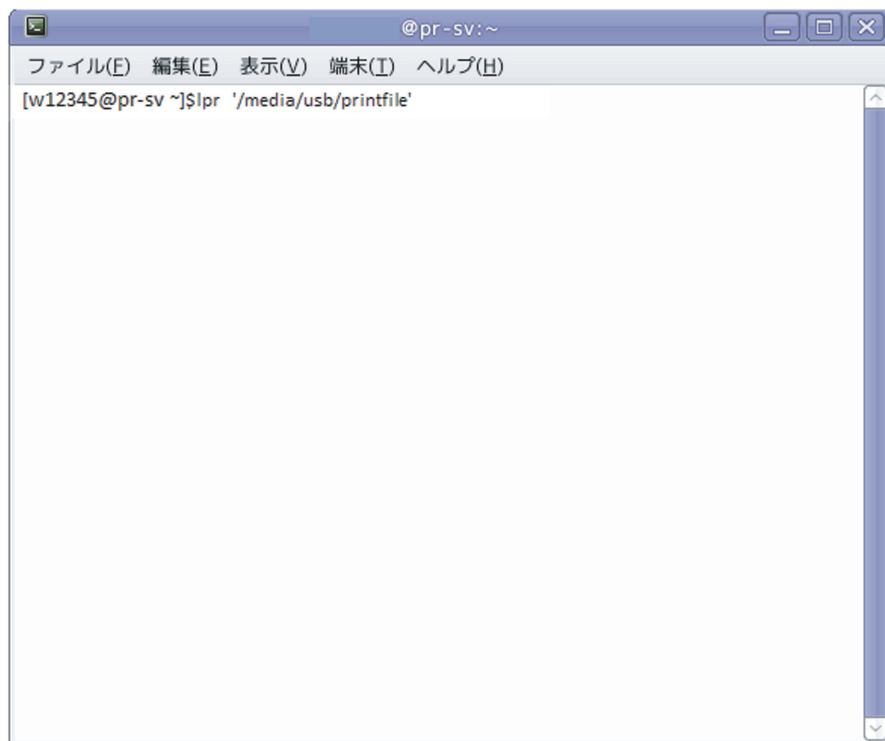


図 15 印刷ファイル名入力後のターミナルウィンドウ

プリンタは、印刷が終わると自動的にカッターで紙を切り取り、用紙受けに紙を排出します。印刷を途中で取り消したいときは、プリンタの操作部にあるキャンセルボタンで取り消せます。

大判カラープリンタの出力負担経費は1枚につき600円としています。また、プリントサーバの利用者ディレクトリの下に印刷ファイルを保存しておく、ファイル負担経費の対象となります。不要な印刷ファイルがある場合は削除するようにしましょう。

4. おわりに

本稿では、文書、図表を拡大して印刷する方法を説明しました。さらに詳しい説明をご覧になりたい方は、利用相談室のプリントサーバのそばに置いてあるマニュアル「大判カラープリンタ出力操作説明書」をご覧ください。

現在センターにある大判カラープリンタは以前提供していたプリンタよりも高画質で印刷することができますので、ぜひご利用ください。